

各 位

会 社 名 株式会社フジックス  
 代 表 者 代表取締役社長 藤 井 一 郎  
 本社所在地 京都市北区平野宮本町5番地  
 コード番号 3600  
 上場取引所 大証第2部  
 問 合 せ 先 取締役管理部長 山 本 和 良  
 (電話番号) 075-463-8111

### 業績予想の差異に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の通期業績予想について、平成21年2月10日付「繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に下記のとおり差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値との差異(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,120	△31	27	△158	△26円23銭
今回発表予想(B)	4,990	△86	△132	△272	△37円26銭
増減額(B)－(A)	△129	△55	△159	△113	—
増減率(%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	5,117	141	191	39	5円45銭

#### 2. 平成21年3月期通期個別業績予想数値との差異(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,204	△219	△112	△191	△21円69銭
今回発表予想(B)	4,147	△241	△247	△339	△46円47銭
増減額(B)－(A)	△57	△21	△134	△147	—
増減率(%)	△1.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,275	△43	54	13	1円87銭

#### 3. 差異の理由

米国金融危機に端を発した世界同時不況と、これに伴う急激な円高および株式市場の急落を受けて、輸出型製造業を中心に急速に業績が悪化しました。またこれに関連して広範囲にわたって生産および雇用の調整が顕著となり、景気の失速感と先行きの不安感が一気に蔓延するなど、未曾有の状況に陥りました。縫い糸市場も、先行きの生活不安感から、消費マインドの急速な委縮と、生活防衛意識の高まりを受けて、国内の衣料品の売れ行きが一層落ち込むとともに、世界の縫製基地となった中国縫製市場も大きな打撃を受け、日本・中国共に一層厳しい状況に陥りました。このような状況の中、当社グループは、日中両市場におけるシェア拡大と、手作りホビー分野での需要の掘り起こしなど、引き続き中期の経営課題に取り組みつつ、将来の競争力強化のため、国内生産拠点の移転統合を実施いたしました。日中両市場での大幅な衣料品の生産調整の影響は予想以上に大きい結果となりました。

個別の平成21年3月期の売上高は、上記の状況を踏まえ、前回発表の予想を下回ることになりました。利

益につきましても、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想を下回ることになりました。その主な理由は、売上高減少及び操業度低下の影響による売上総利益の減少に加えて、先行的な販売促進関連費用の増加、内部統制構築に係わる関連費用の増加、最近の経済情勢を踏まえて回収可能性を詳細に検討した結果としての貸倒引当金の繰入れ（営業外費用）を行ったことや、生産拠点の移転統合に関する取り壊し等関連費用（特別損失）を追加計上したことなどによるものであります。

連結の平成21年3月期の売上高についても、個別同様、上記の理由から、前回発表の予想を下回ることになりました。利益につきましても、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想を下回ることになりました。その主な理由は、個別における売上高減少、操業度低下の影響及び中国での売上高減少の影響による売上総利益の減少に加えて、個別の先行的な販売促進関連費用の増加、内部統制構築に係わる関連費用の増加、最近の経済情勢を踏まえて回収可能性を詳細に検討した結果としての貸倒引当金の繰入れ（営業外費用）を行ったことや、生産拠点の移転統合に関する取り壊し等関連費用（特別損失）を追加計上したことなどによるものであります。

以 上